

明石工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	エンジニアリングプレゼンテーションⅡ	
科目基礎情報						
科目番号	0034	科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械・電子システム工学専攻	対象学年	専2			
開設期	後期	週時間数	後期:2			
教科書/教材	教科書は使用しない。適宜プリント資料を配布する。					
担当教員	境田 彰芳, 平石 年弘					
到達目標						
(1)与えられたテーマについて課題を設定し、それについて発表する資料(レジメ・スライドなど)を作り、口頭で発表と討議ができる(E)。 (2)テーマ1で取り上げる専門学会の倫理綱領などの調査とその結果の発表を通じて、技術者倫理を理解する(C)。 (3)テーマ1でのチームによる作業を通して役割分担等の重要性を理解する(B)。 (4)テーマ3で取り組む、自らの専攻科特別研究を専門の違う学生にも理解できるように発表することを通じて、広く工学関連分野の知識を身につける(H)。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	与えられたテーマについて課題を設定し、それについて発表する資料(レジメ・スライドなど)を作り、口頭で発表と討議を説得力を持って行える。	与えられたテーマについて課題を設定し、それについて発表する資料(レジメ・スライドなど)を作り、口頭で発表と討議ができる。	与えられたテーマについて課題を設定し、それについて発表する資料(レジメ・スライドなど)を作り、口頭で発表と討議ができない。			
評価項目2	専門学会の倫理綱領などの調査とその結果の発表を通じて、技術者倫理を十分理解し、説明できる。	専門学会の倫理綱領などの調査とその結果の発表を通じて、技術者倫理を理解する。	専門学会の倫理綱領などの調査とその結果の発表を通じて、技術者倫理を理解できない。			
評価項目3	チームによる作業を通して役割分担等の重要性を理解し、実践できる。	チームによる作業を通して役割分担等の重要性を理解する。	チームによる作業を通して役割分担等の重要性が理解できない。			
評価項目4	自らの専攻科特別研究を専門の違う学生にも十分に理解できるように発表し、積極的な討議ができる。	自らの専攻科特別研究を専門の違う学生にも理解できるように発表し、討議ができる。	自らの専攻科特別研究を専門の違う学生にも十分に理解できるように発表できず、討議もできない。			
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (B) 学習・教育目標 (C) 学習・教育目標 (E) 学習・教育目標 (H)						
教育方法等						
概要	本科目では、技術的な表現能力を高めるために、文章によるプレゼンテーション、図表によるプレゼンテーション、口頭によるプレゼンテーション等について、基本的な取り組み方の講義と演習を実施する。多様な課題を学生に与え、(1)主題の明快さ、(2)内容の分かりやすさ、(3)訴求力等の観点から相互に評価を求め、担当教員による感想、講評を加えて内容の洗練化を図る。また、チームワークによるプレゼンテーションの作成作業を通して役割分担等の重要性を理解する(担当者・時間は授業の内容を参照のこと)。					
授業の進め方・方法	前期は、中井・武田が基本的事項等について講義を行った後、各テーマについて学生が発表を行い、中井・武田の複数授業形式で行う。後期は順番に学生が発表を行い、平石・境田の複数授業形式で行う。					
注意点	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。学生自身が作成したレジメとスライドにより決められた時間で発表し、討議することに重点をおく。他の学生の発表について評価できる目も養ってもらいたい。合格の対象としない欠席条件(割合) 1/5以上の欠課					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	テーマ3(専攻科特別研究のイントロダクション):スライドの作成(その1:平石) テーマ3は専攻科特別研究のイントロダクションを専門の違う専攻科学生にも理解できるように、10分間で発表する。課題説明を行った後、プレゼンテーションの準備をおこなう。	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えるために何に注意する必要があるか説明できる。		
		2週	テーマ3(専攻科特別研究のイントロダクション):スライドの作成(その2:平石) 同上	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えるための資料を作ることができる。		
		3週	テーマ3の発表(その1:平石、境田) 一人ずつテーマ3について10分で発表し、全員で10分の質疑応答を行う。発表については学生相互の採点を行う。	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。		
		4週	テーマ3の発表(その2:平石、境田) 同上	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。		
		5週	テーマ3の発表(その3:平石、境田) 同上	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。		
		6週	テーマ3の発表(その4:平石、境田) 同上	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。		
		7週	テーマ3の発表(その5:平石、境田) 同上	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。		
		8週	テーマ3の発表(その6:平石、境田) 同上	専門の異なる学生に自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。		

4thQ	9週	テーマ4(特別研究の報告):報告書・スライドの作成(その1:境田) 各自の取り組んでいる特別研究について、審査発表会に向けての準備をする。	特別研究審査発表会に向けてのスライド・資料を作成できる。
	10週	テーマ4の発表(その1:境田、平石) 一人ずつテーマ4について10分で発表し、全員で5分程度のディスカッションをする。	自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法・実験結果・考察を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。
	11週	テーマ4の発表(その2:境田、平石) 同上	自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法・実験結果・考察を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。
	12週	テーマ4の発表(その3:境田、平石) 同上	自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法・実験結果・考察を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。
	13週	テーマ4の発表(その4:境田、平石) 同上	自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法・実験結果・考察を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。
	14週	テーマ4の発表(その5:境田、平石) 同上	自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法・実験結果・考察を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。
	15週	テーマ4の発表(その6:境田、平石) 同上	自身の専攻科特別研究の背景、研究目的、研究方法・実験結果・考察を伝えることができる。また、発表に対して質問ができる。
	16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	レジメ	発表・討議	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	70	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	30	70	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0